

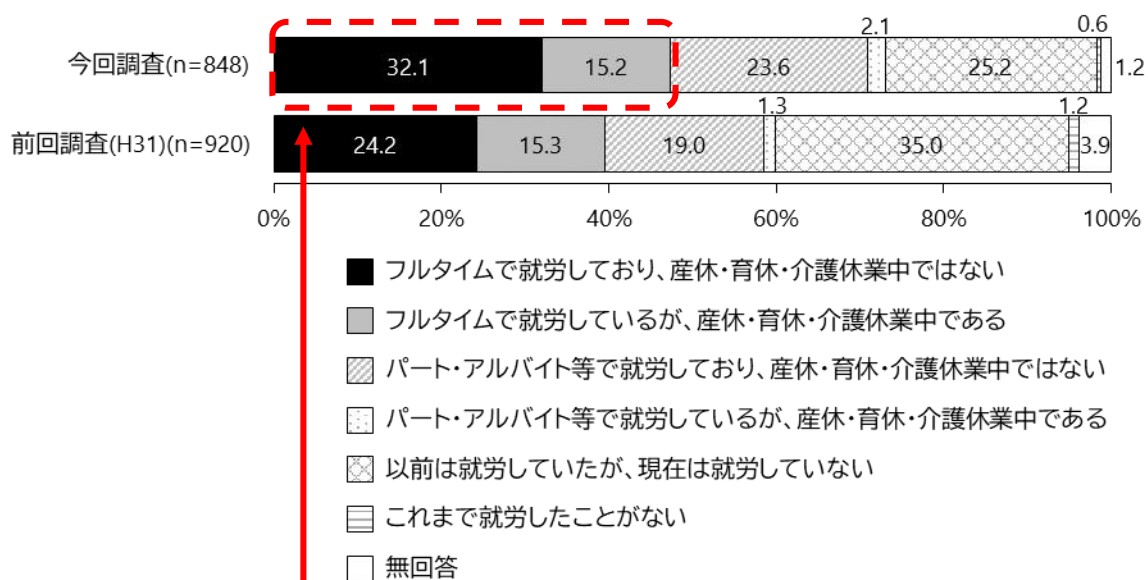
守山市子育て支援に関する調査 結果からの課題

I 就労環境の変化に関すること

1. 就労状況

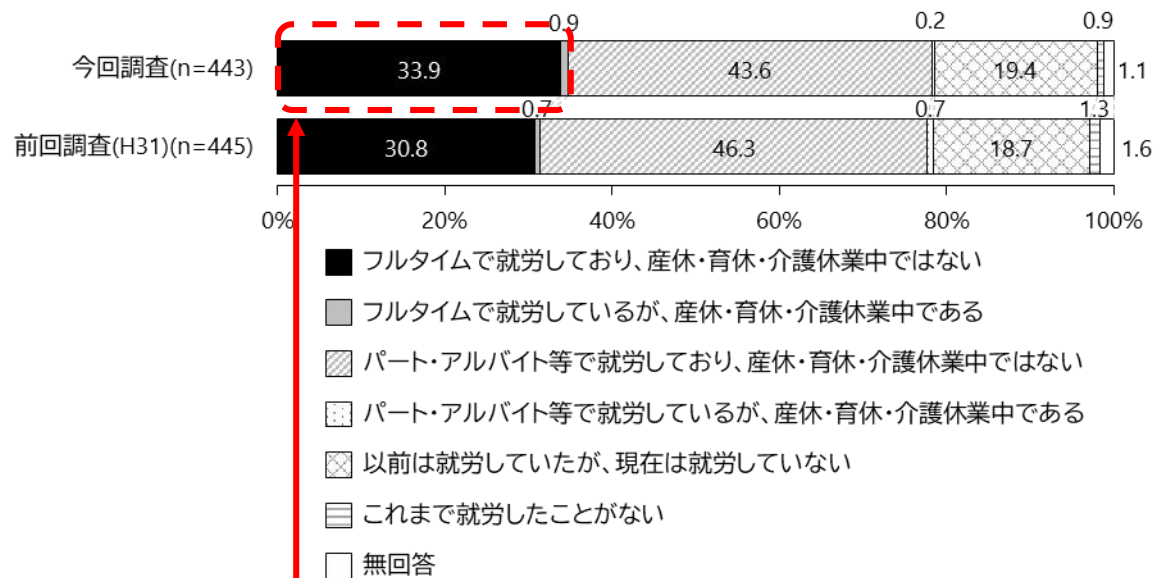
就学前児童保護者、小学生保護者いずれにおいても、パート・アルバイト等で就労や未就労の母親の割合が減少し、フルタイム就労が増加しています。父親のほうは約9割がフルタイム就労であることから、父母ともフルタイム就労の共働き世帯が増加しているものと考えられます。

■就学前児童保護者(母親)



フルタイム就労が7.8ポイント増加

■小学生保護者(母親)

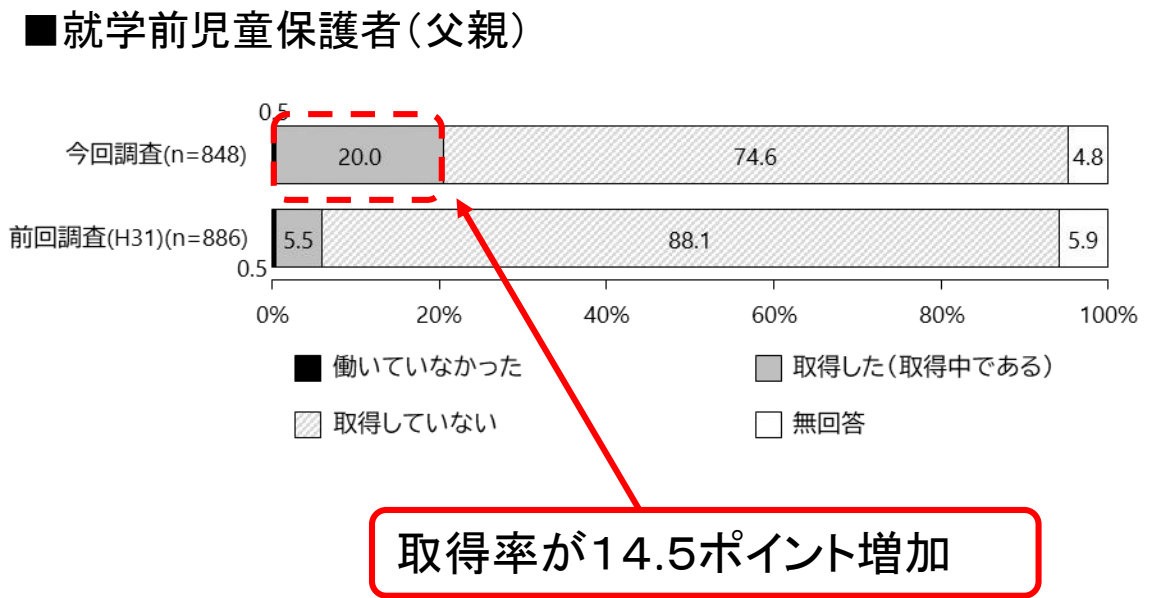
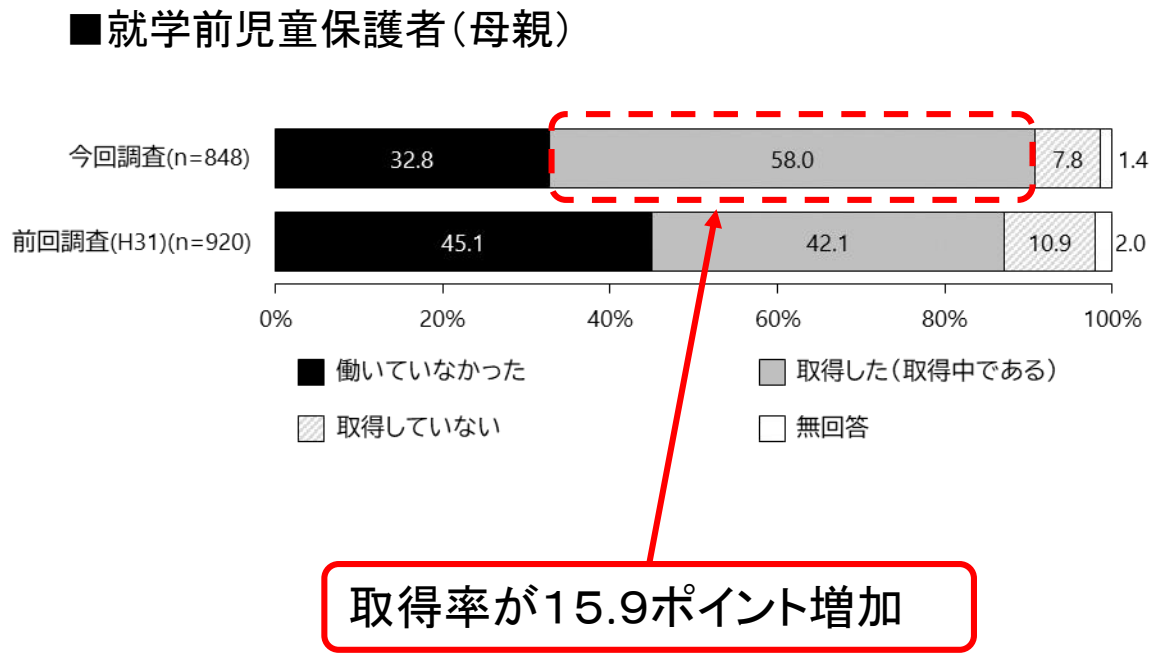


フルタイム就労が3.3ポイント増加

2. 育児休業

育児休業の取得率が、父母とも大きく増加しています。母親においては、フルタイム就労が進んだことによる影響と考えられます。

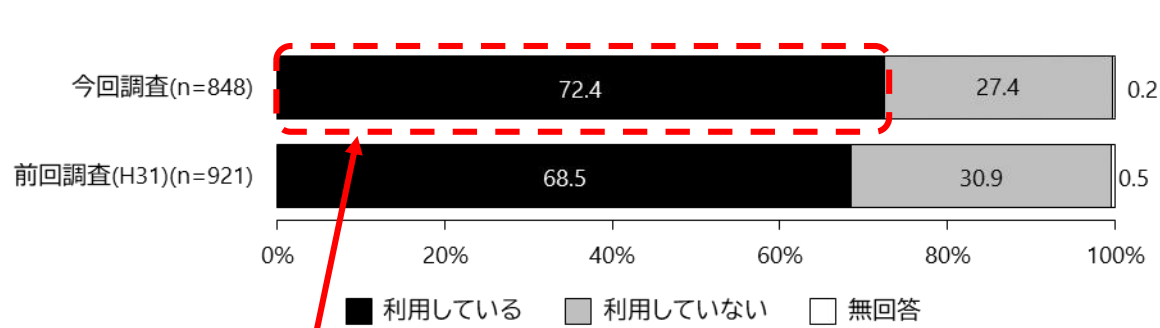
父親においては、就労状況が大きく変化したわけではないため、男性が育児休業をとることが少しずつですが、社会に理解されてきているものと考えられます。



3. 保育ニーズ①

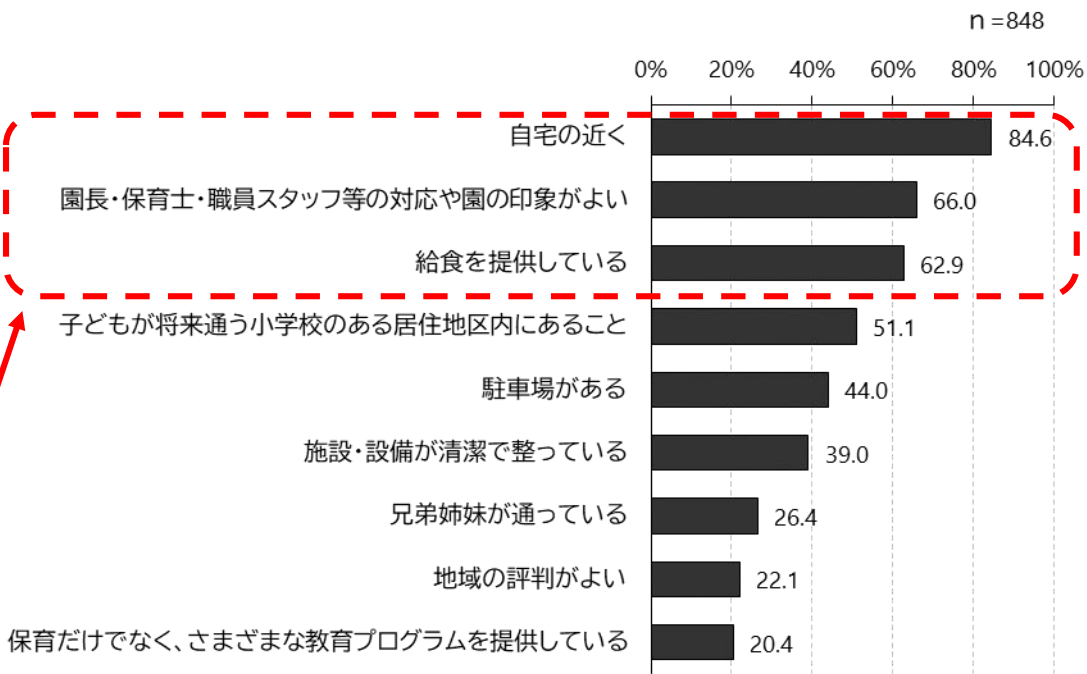
教育・保育施設を利用している割合は増加傾向にあり、施設を選ぶ際に重視することは「自宅の近く」、「園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい」、「給食を提供している」が上位にあがっています。

■教育・保育施設の利用状況



利用している割合が3.9ポイント増加

■教育・保育施設を選ぶ際に重視する点(上位項目)

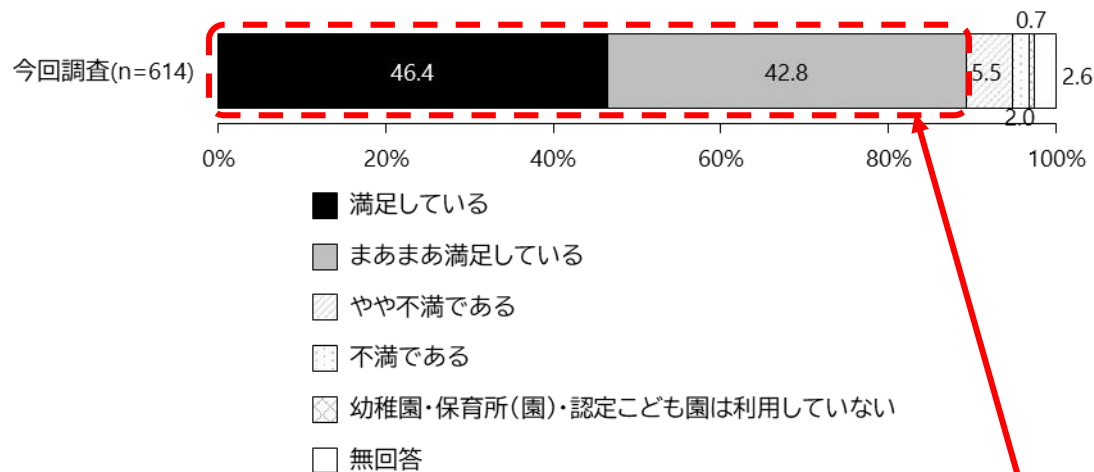


自宅近く、保育士やスタッフの対応、給食の提供が上位にあがっています

3. 保育ニーズ②

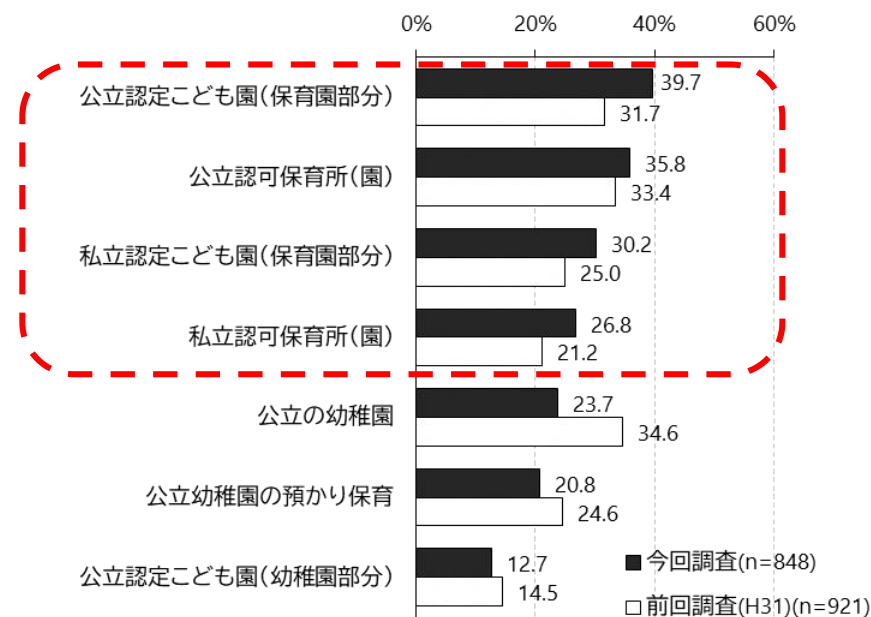
現状の幼稚園等、保育施設の満足度は高くなっています。今後の利用意向は、「公立認定こども園(保育園部分)」、「公立認可保育所(園)」、「私立認定こども園(保育園部分)」等が上位にあがっており、保育ニーズの高まりがわかります。

■幼稚園・保育所(園)・認定こども園の満足度



幼稚園等、保育施設の満足度は約9割が満足と回答しています。

■教育・保育事業の今後の利用意向(上位項目)

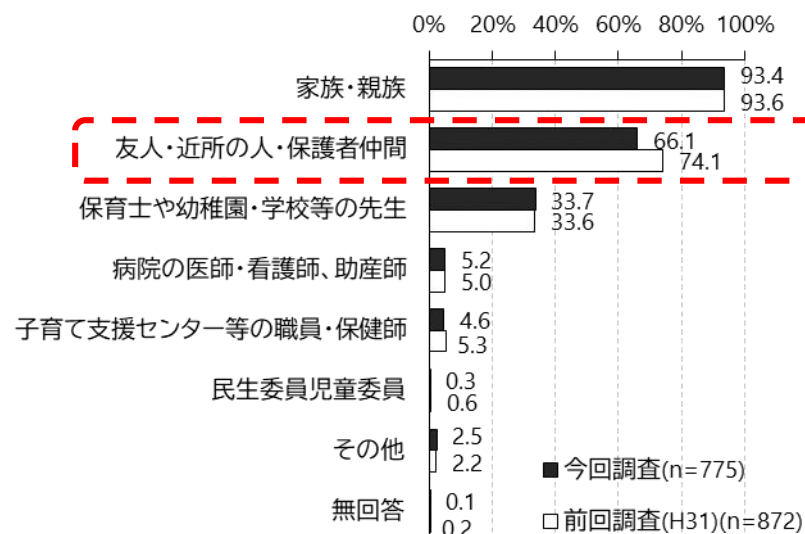


Ⅱ 地域に関すること

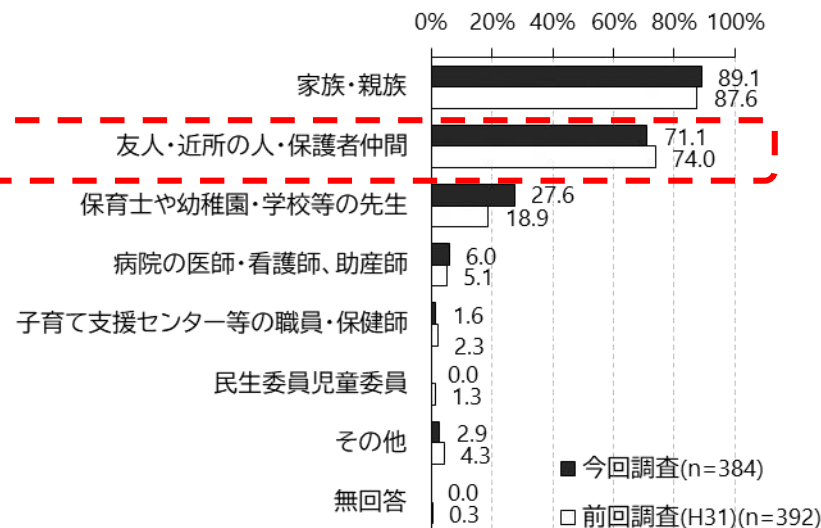
1. 子育ての相談相手

就学前児童、小学生児童の保護者ともに「家族・親族」との回答が最も多く、前回との変化は見られませんが、「友人・近所の人・保護者仲間」はいずれも減少しています。

■ 子育ての相談相手・場所（就学前児童保護者）



■ 子育ての相談相手・場所（小学生児童保護者）

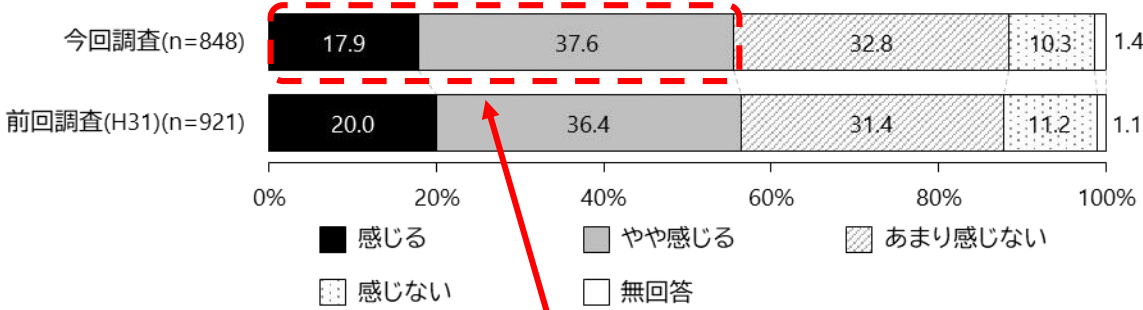


「友人・近所の人・保護者仲間」はいずれも減少

2. 地域に支えられている感覚

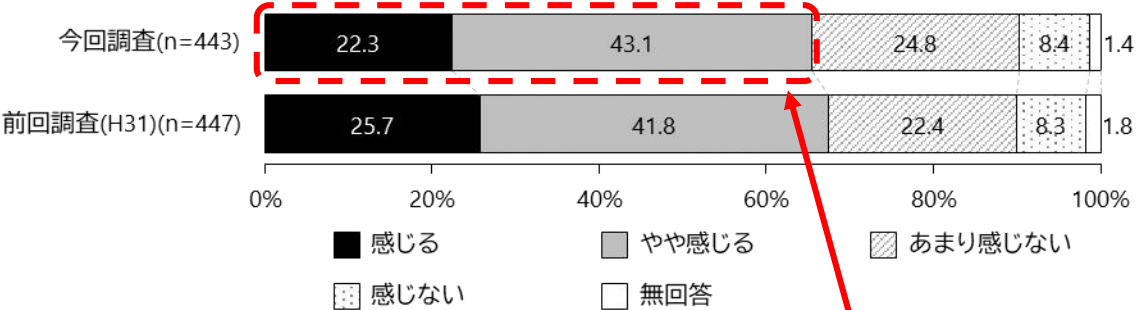
地域に支えられていると『感じる』との回答は就学前児童の保護者で5割強、小学生児童の保護者で6割強となっていますが、いずれもやや減少傾向となっています。

■ 地域に支えられている感覚(就学前児童保護者)



『感じる』との回答は55.5%

■ 地域に支えられている感覚(小学生児童保護者)

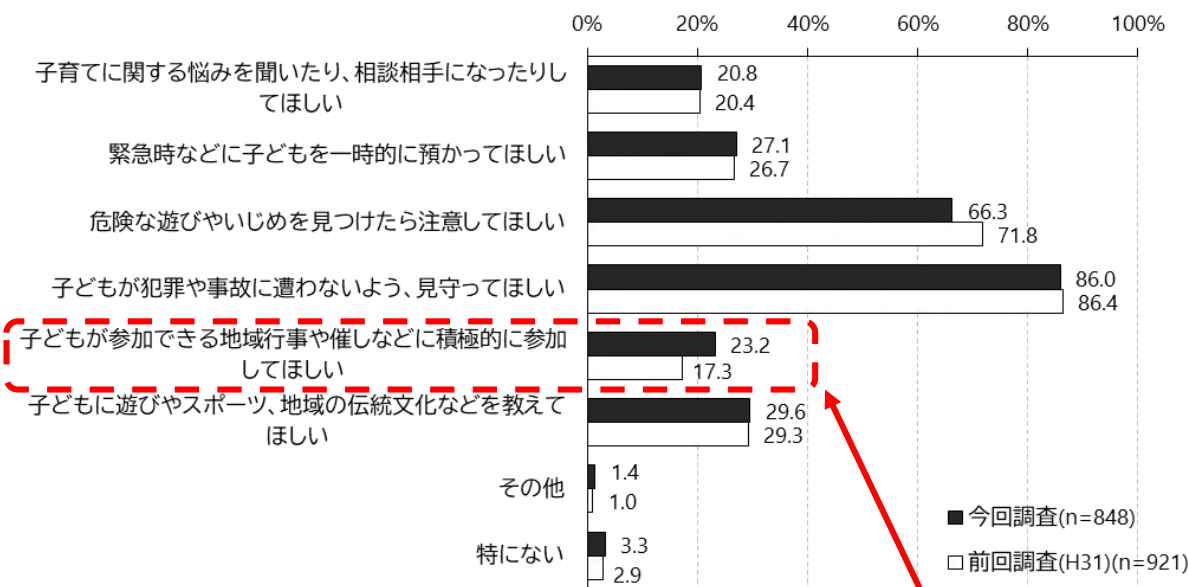


『感じる』との回答は65.4%

3. 地域の人に期待すること

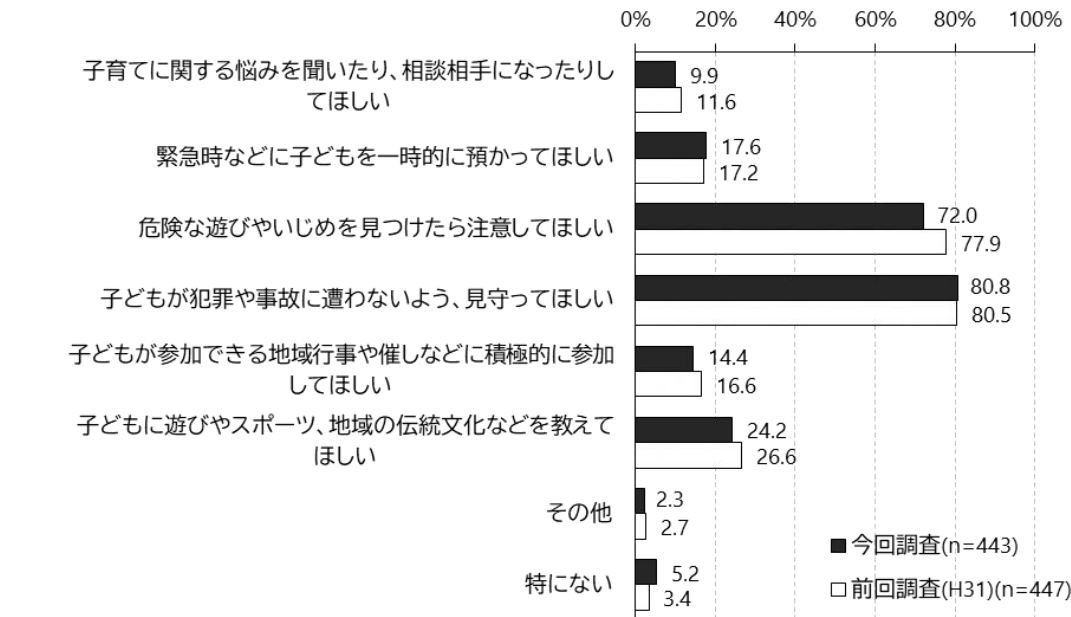
就学前児童、小学生児童の保護者ともに「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が最も多くなっていますが、就学前児童保護者では「子どもが参加できる地域行事や催しなどに積極的に参加してほしい」が前回よりも増加しています。

■ 地域の人に期待する子育て支援（就学前児童保護者）



5.9ポイント増加

■ 地域の人に期待する子育て支援（小学生児童保護者）

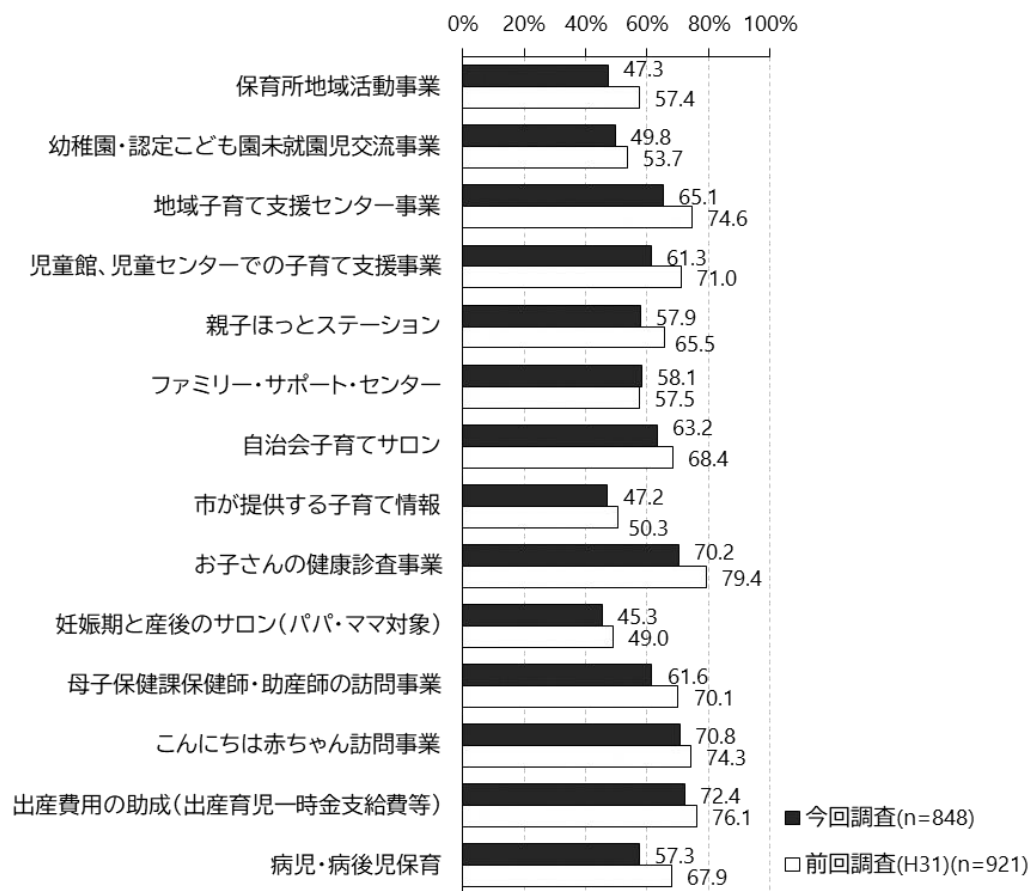


Ⅲ 市への評価

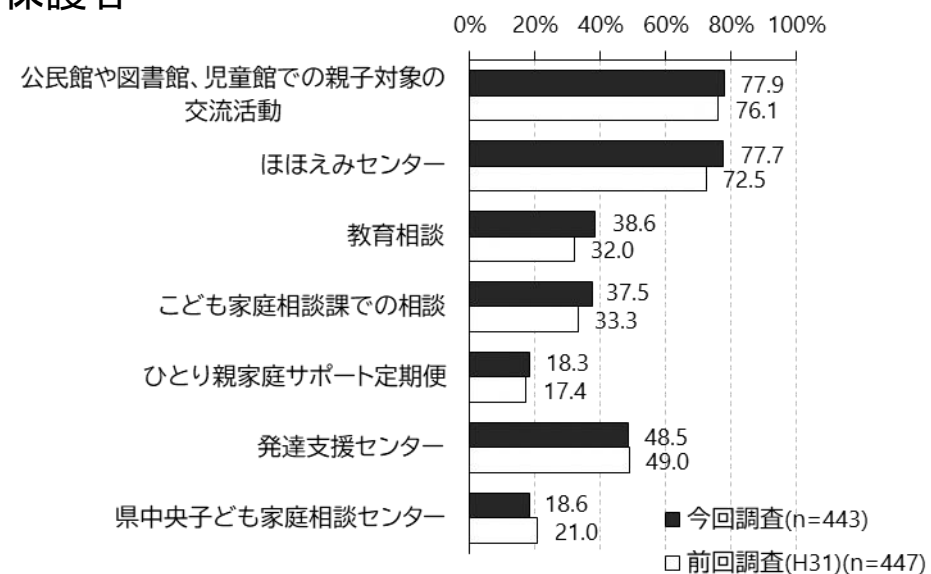
1. 事業の認知状況

就学前児童保護者では、ほとんどの事業で前回調査と比較して、認知度が下がっています。一方、小学生児童保護者では多くの事業で認知度は上がっています。

■就学前児童保護者



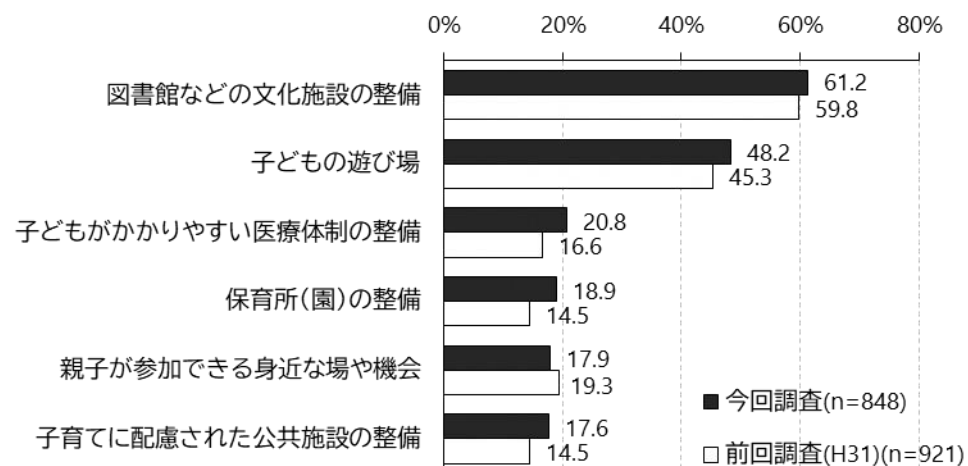
■小学生保護者



2. 市の子育て環境で評価できる点

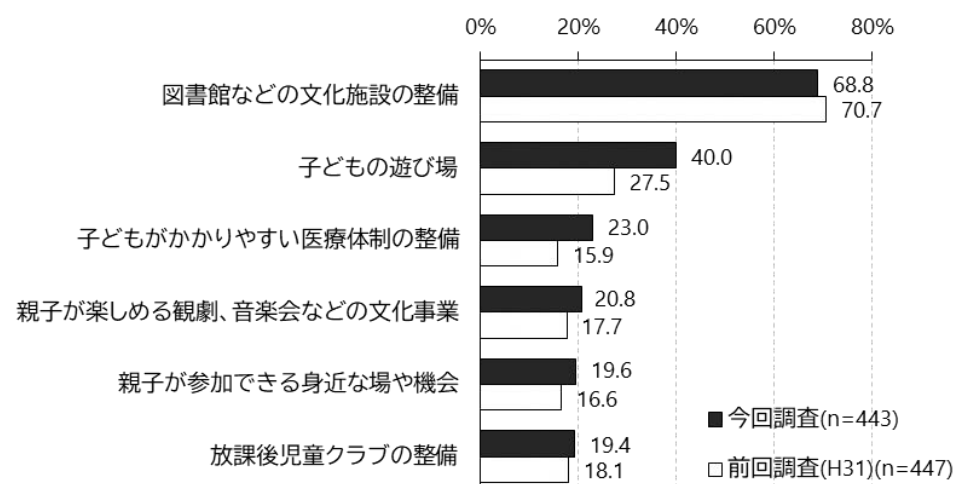
評価できる点は就学前児童保護者、小学生児童保護者ともに「図書館などの文化施設の整備」、「子どもの遊び場」、「子どもがかかりやすい医療体制の整備」上位3位を占めています。

■就学前児童保護者(上位6項目)



- ・図書館などの文化施設の整備の評価が高い
- ・遊び場についても一定の評価が得られています。

■小学生児童保護者(上位6項目)

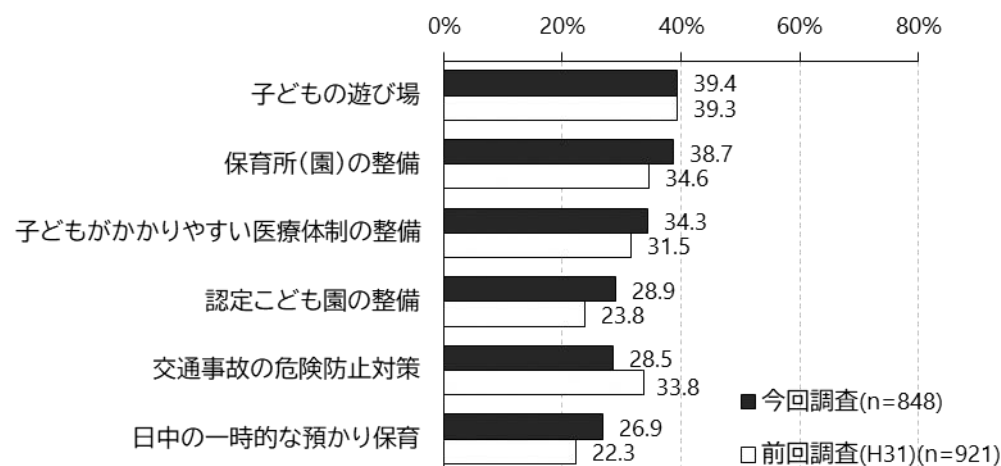


- ・図書館などの文化施設の整備の評価が高い
- ・遊び場についても一定の評価が得られています。

3. もっと充実してほしい点

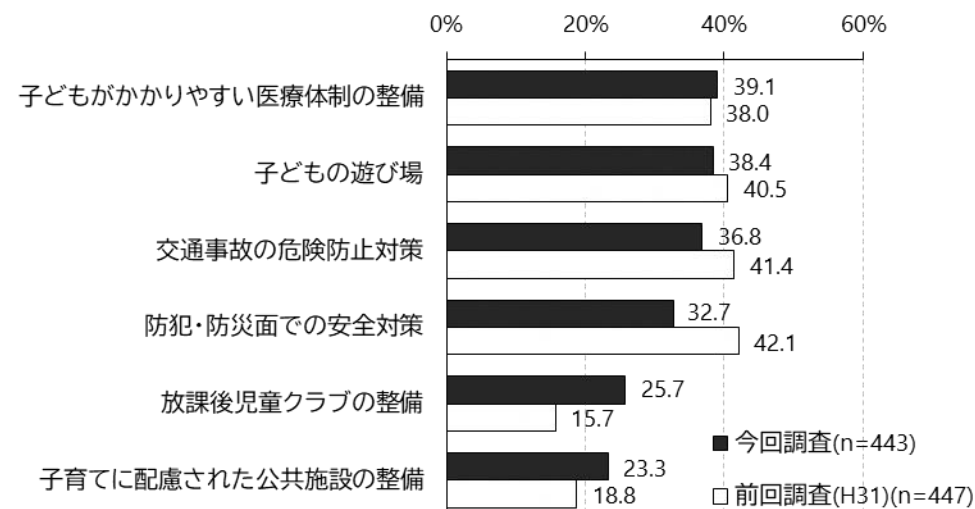
遊び場が充実していないことへの不満は、前回調査と同様高いものとなっています。また、小児科医療の体制の整備がまだまだ十分でないという不満が高まっています。

■就学前児童保護者(上位6項目)



- ・遊び場が充実していないことへの不満が高い
- ・保育所(園)の整備について不満が高まっている

■小学生児童保護者(上位6項目)



- ・小児科医療の体制の整備への不満が高まっている
- ・遊び場が充実していないことへの不満が高い

まとめ～調査結果からみられた主な課題～

1. 共働き世帯の増加に伴い、保育ニーズの高まりがみられます。
2. 育児休業の取得率は上昇傾向にありますが、男性の取得率は低い水準にとどまっています。
3. 現在の教育・保育事業には一定の満足感がうかがえ、今後も保育を中心にニーズの高まりがうかがえます。
4. 友人や近所の人等に相談相手になってもらうこと、地域に支えられている感覚はともに減少傾向にあり、子育て世帯の孤立感がうかがえます。
5. 市の子育て環境で「子どもの遊び場」について、一定の評価を得ているものの整備についての要望が多くあがっています。